

提案書評価基準

本プロポーザルにおける各提案者の評価は、各審査員が採用したい遊具の順位付けを行い、その順位に基づく点数を全て合計し、工事費内訳書の金額の順位付けに基づく加点により特定する。

1. 審査委員は、提案毎に次表の評価基準に基づいて順位を設定する。

評価項目	評価の着目点
全体デザイン	周囲の景観にあうデザインとなっている。
維持管理	劣化の軽減に配慮し、長期間利用できる耐久性のある材料を使用している。日常の点検及び小修繕を容易に行うことができる。
安全に対する 配慮	からまり、引っ掛かり、落下、挟み込みなど、予期せぬケガ（ハザード）への対応が適切である。
	低年齢児と高年齢児の混在を避ける工夫がされている。
	使用者の動線に対して十分な配慮がされ、安全な配置となっている。
遊具の構成 ・形態	いろいろな種類の遊びの形態（のぼる、くぐる、すべる、はねる、ぶら下がる等）が提供されており、使用者の好奇心、挑戦意欲を刺激し、飽きずに何度もチャレンジしたくなるような遊具である。
	遊具の構成、形態、バランスが良い。

2. 配点については次の通りとする。（提案総数が N 個の場合）

順位	1 位	2 位	…	N 位
配点	2×N 点	2×(N-1)点	…	2 点

(例) 6 案提出の場合

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
配点	12 点	10 点	8 点	6 点	4 点	2 点

3. 工事費内訳書の金額に基づき低い順に順位付けを行い次の通り加点する。なお、金額が同じ場合は、同じ順位とする。（提案総数が N 個の場合）

順位	1 位	2 位	…	N 位
配点	N 点	(N-1)点	…	1 点

(例) 6 案提出の場合

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
配点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点